令和6年度 第2回子ども・子育て会議 議事要旨

会議体の名称	令和6年度第2回昭島市子ども・子育て会議	
事務局（担当課）	子ども家庭部 子ども未来課	
開催日時	令和6年10月17日（木） 18:30～19:50	
開催場所	昭島市役所3階 庁議室	
議題	1 開会 2 挨拶 3 議題 第3期昭島市子ども・子育て支援事業計画（素案）について （1） 第1章 計画の策定にあたって（資料1-1） （2） 第2章 子ども・子育てを取り巻く環境等（資料1-2） （3） 第3章 計画の基本的な考え方（資料1-3） 4 報告 （1） 子どもの意見聴取報告書について（資料2） （2） 特定教育・保育施設定員の設定について（資料3） （3） 私立幼稚園の収容定員に係る園則変更認可について（資料4） 5 その他 6 閉会	
出席者	委員	出席：8名 欠席：4名
	事務局	子ども家庭部長、子ども育成支援課長、子ども未来課長、保育所幼稚園係長、指導管理係長、指導管理係主任、子ども政策係長

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 題

（1） 第1章 計画の策定にあたって

- 事務局より、資料1-1に基づき計画の策定にあたってについて説明。

【会 長】

ただいまの説明を受け疑問点やご意見等があればお願いしたい。私としては、本計画に内にあるウェルビーイングという言葉が市民にわかりづらいため、補足等を設けていただきたい。

(2) 第2章 子ども・子育てを取り巻く環境等(資料1-2)

●事務局より、資料1-2に基づき第2章 子ども・子育てを取り巻く環境等について説明。

【会 長】

ただいまの説明を受け疑問点やご意見等があればお願いしたい。

【委 員】

ファミリー・サポート・センター事業の保育所や学童への送迎の数字が令和5年度に跳ね上がっているが、理由を教えてください。

【事 務 局】

支援を必要とするお子さんも非常に多くなってきているため、利用の状況が増えている。また、令和5年度からコロナ感染症が5類になり、学童に通う子どもが多くなったことも、要因であると考えます。

【委 員】

令和7年の4月開所予定というのはスターチャイルド昭島ナーサリーの事か。また、スターチャイルド昭島ナーサリーは認可保育園か。それとも認定こども園か。

【事 務 局】

スターチャイルド昭島ナーサリーは認可保育園であり、受け入れ児童数は合計60名の予定となっている。

【委 員】

受け入れ人数60人とのことだが、新しく建設されたマンションに引っ越してきた家庭の子どもは保育園に入れるのか。

【事 務 局】

マンションの入居世帯数を元に、子どもの出現率を計算している。施設の定員数についても出現率と施設の大きさのバランスを見た上で計画されている。

【委 員】

小学校の学区は拝島第二小学校になるのか。

【事 務 局】

学区は、つつじが丘小学校の予定となっている。

【委 員】

学校の教室数は足りているのか。

【事務局】

現時点での試算では、教室数に不足は生じないものと考えている。

【委員】

学童クラブの需要はどうか。

【事務局】

転入されてくる家庭は学校の学区が変更になることを避ける傾向があるため、未就学児を抱える家庭が多いと聞いている。今後は、未就学児が小学校に上がり、学童クラブへ通うことを考えると不足する可能性もあることから、状況を確認しながら学童クラブの定員数についても検討していく必要がある。

【会長】

子どもが増える傾向にあることは喜ばしいと同時に、学校の空き教室等がなくなること、また学童クラブに通えなくなる児童も出てくるため、それらの課題への対応についてもお願いしたい。

【委員】

昭島市の人口は増加していき転入者も増加している中で、年少人口は減少している状況にあるが、働きたい方が増えることにより保育園に預けたい方が増加すると、待機児童が増えてしまうかと思うが、市はどのようにお考えか。

【事務局】

子どもは少なくなってきたが、女性の就業率は引き続き高い状況が続くものと見込んでおり、今後も保育の需要は非常に高くなる見込みを立てている。引き続き市内の園と連携を図り、待機児童対策を進めていく必要がある。

【委員】

現在、人口は増えているが、児童のいる世帯の転入ではなく、別の世帯の転入が多いと見込んでいるということか。

【事務局】

年少人口である0歳から14歳の推移は大きく変わらない状況にある。また、高齢人口である65歳以上についても大きく変わりはない状況にある。生産年齢人口である間の部分の年齢層については、令和5年から6年についても400人程度増えている状況にある。

(3) 第3章 計画の基本的な考え方

- 事務局より、資料1-3に基づき第3章 計画の基本的な考え方について説明。

【会 長】

ただいまの説明を受け疑問点やご意見等があればお願いしたい。

なお、子どもの意見聴取結果の概要については、事務局に一任し、次回の会議でご報告いただきたいと思う。

また、一つ意見となるが、ウェルビーイングについては文科省の方でも出てくるが、国際的なウェルビーイング仕様にしてしまうと個人に対するウェルビーイングが強調される傾向にある。日本の中では文化的背景として協調的なウェルビーイングというところや他者との良好な調和といったところが重視されるウェルビーイング仕様というものが文科省でも指摘されているところなので、そういったところを念頭に子どものウェルビーイングのところが議論されると良いのではないかと思う。

4. 報 告

(1) 子どもの意見聴取報告書について

●事務局より、資料2に基づき子どもの意見聴取報告書について説明。

【会 長】

ただいまの説明を受け疑問点やご意見等があればお願いしたい。

【委 員】

こども園での子どもたちの意見聴取について、普段はそういった機会がなく、子どもたちがどういう反応をするか興味深かったが、上手く意見を引き出せていたと感じられた。子どもたちはこの調査の意図するところまでは結びつかない意見も多かったが、子どもが集中して答えることができおり、とても良い機会になったのではないかと思う。

【委 員】

今回、子ども家庭庁からの指示もあり行われた意見聴取だが、今後も継続的に実施していくことが、子どもたちにとっても親にとってもいいと感じる。定期的に行政の方々と聴取できる機会があると今後の子どもたちにとってもいい機会になるのではと感じた。

【会 長】

子どもの意見表明の機会というところは、今後必ず聞くということが法定になっているため、継続されることを期待している。

【委 員】

子どもからの意見で、何かネガティブな意見はなかったのか。子どもは肯定的に答えてしまうことが多いかと思うが、その中でネガティブな意見があったのであればお聞きしたい。

【事 務 局】

例えば幼稚園や保育園を休みたいときがある、家では1人でテレビ見たり工作したりしているなど、前向きに捉えづらい意見もあった。また、昭島市以外のところでも住んでみ

たい、昭島市以外も見てみたいという意見などもあった。

【委 員】

今後子どもに意見を聴く機会があったら、自然現象についての質問をお願いしたい。例えば夏の猛暑により室外で遊べない状況についてどう感じているのかなど、自然というもののか捉え方を質問してみて、子どもたちがどうこの暑さを考えているのか聞いてみてはいいかがか。

【事 務 局】

子どもの意見の中で、暑くて外では遊べないが、体を動かしたいという意見もあった。やはり体を動かすこと、汗をかくことは、子どもにとって大切なことであると改めて認識したところである。次回意見聴取をする際に項目として追加するかどうか調整したい。

【委 員】

児童相談所でも子どもの意見表明については大きなテーマとなっており、意見を聴いていけないといけないと感じている。昭島市においても、引き続き意見聴取の取組を進めていただきたい。また、昭島市にあるモリタウンに立川以西の子どもたちが集まる傾向にある。昭島市に様々な子どもたちが集まってくるため、色々な子どもの話が聞けるかもしれない。そのような場所でも、子どもの意見を聴けるといいと思う。特に昭島市にはアキシマエンシスという非常に立派な施設があるため、様々な子どもたちからの意見を聴取し、子どもたちがアキシマエンシスという施設をどう使いたい話を聞いてみるのもいいのではないかと思う。

【会 長】

今の意見は非常に重要である。様々な意見を聴取し、反映させていくことで、昭島市でまた過ごしたい、大人になっても帰ってきたいという声に繋がっていくと思う。

【事 務 局】

今回の意見聴取から、子どもの周りに物が充足しており、遊び方も昔と異なってきた状況にあるということがわかった。物が充足していることはいい面もあるが、物がなくても子どもが想像して遊ぶなどの体験や経験も重要となってくる。また、保護者が就労している家庭が多く、子どもとの時間が休日になってしまう家庭も多くあることがわかった。休日も子どもと遊ぶ時間を取るというよりも、ショッピングモールなどで用事を済ませながら遊ばせるというような家庭も多くあり、時代と共に子どもとのかかわり方に変化が生じてきているということがわかった。

【副 会 長】

子どもの意見聴取の報告の仕方についてどのように行うのかお聞きしたい。

【事務局】

報告の仕方については、現在検討中である。次回会議にて取りまとめの上、報告書の案をお示ししたい。

【副会長】

子どもたちから意見を聴取した際に、たくさんの良い発言を生き生きとしてくれているので、子どもたちに対してわかりやすい報告書を作成していただきたい。

【会長】

国からも、聴取した意見を子どもたちに返していくということが必要だと指摘されている。子ども向けの報告書を簡易的に作成いただきたい。また、他の自治体が始めているようにホームページでの公開も視野に入れ、作成いただきたい。

【事務局】

報告書についても検討させていただきます。

(2) 特定教育・保育施設定員の設定について

●事務局より、資料3に基づき特定教育・保育施設定員の設定について説明。

【会長】

ただいまの説明を受け疑問点やご意見等があればお願いしたい。

【委員】

1歳児の保育士数の箇所が非常勤保育士5名となっているが、うち無資格者0名という記載がある。この表記が何を指すのか教えていただきたい。資格のない方がいないということか。

【事務局】

お見込みの通りで、常勤、非常勤ともに全て保育士であるということを表現するための表記となる。

【委員】

小規模保育事業のときは0歳児の必要面積があるかと思う。特定教育・保育施設定員の設定を行うにあたり、東京都や国の基準に合わせた必要面積となっているという認識でよろしいか。

【事務局】

お見込みの通り、基準に合わせた面積となっている。

【委員】

小規模保育所を作る際は連携園が無いといけないかと思うが、無くても問題はないのか。

【事務局】

特例期間があるためその期間内であれば問題ない。現在、事業所も連携園として受け入れてくれる園を探しているが、受け入れ先が見つかっていない状況にある。

【委員】

今後、3歳になった際の預け先が問題となるので、連携園が早く決まるよう調整を続けていただきたい。

(3) 私立幼稚園の収容定員に係る園則変更認可について

●事務局より、資料4に基づき私立幼稚園の収容定員に係る園則変更認可について説明。

5.その他

【会長】

東京都の認証学童クラブに関する昭島市の考えや検討状況を教えていただきたい。

【事務局】

現在、情報収集に努めている。具体的な情報は未だなく、引き続き情報収集に努めていく。

【会長】

東京都で認証学童クラブの設置に関する検討がされているというところもあり、今後の計画の内容と重なってくるため、引き続き情報収集に努めていただきたい。

6.閉会

【副会長】

本計画に、子どもの意見表明をどう盛り込んでいくかが非常に大切な部分になったと思う。今後、「こどもまんなか社会」を実現できるような計画が作れるよう、是非ご協力いただきたい。また、子どもたちへの意見聴取について、市として定期的に行っていただければと思う。

以上